

「地域の福祉に関するアンケート」
の調査結果について

地域の福祉に関するアンケート調査

【調査の概要】

第4期加賀市地域福祉計画策定にあたり、市民の地域に対する意識や地域福祉に対する参加の意向などを把握することを目的とした調査を実施。

【調査対象】

市内の20歳以上の人のうち、無作為に抽出した3,000人

【調査期間】

平成31年2月6日（水）～平成31年2月22日（金）

【調査方法】

郵送による配布・回収

【調査内容】

- ・住民（回答者）自身のこと
- ・近所とのかかわりや地域福祉について
- ・生活課題について
- ・生活困窮の支援のあり方について
- ・地域の相談窓口について
- ・地域見守り支えあいネットワークについて
- ・成年後見制度について
- ・今後の福祉施策について

【回答数】

1,258件（回収率41.9%）

【返信の状況】

男女別返信率

性別	返信数	返信率
男性	530	36.1%
女性	725	47.4%
無回答	3	
合計	1,258	

年齢別返信率

年齢	返信数	返信率
20歳代	78	24.5%
30歳代	102	30.6%
40歳代	155	32.6%
50歳代	171	38.3%
60歳代	258	48.0%
70歳代	311	60.5%
80歳以上	181	48.1%
無回答	2	
合計	1,258	

地区（郵便局）別返信率

地区	返信数	返信率
大聖寺	393	43.8%
山代	211	37.1%
片山津	484	41.1%
山中	165	46.5%
無回答	5	
合計	1,258	

【まとめ】

- 近所の人とのかかわり 問 5
 - 「時間の余裕があれば、近所を中心とした助け合いや付き合いを大切にしたい」(557人 44.8%)
 - ⇒ 時間に余裕があれば、近所の人とのかかわりを大切にしたい一方で、記述からは、近所付き合いにある程度の距離感を保ちたいと考える人が多いことがうかがえる。

- 地域の様々な住民活動への参加 問 6
 - 「時間の余裕があれば、負担にならない程度で参加したいと思う」(525人 42.5%)
 - ⇒ 時間の余裕があれば参加したい一方で、記述からは、高齢や、身体的負担から参加できない人も多いことが見てとれる。

- 地域の中で手助けしてほしいこと 問 1 2
 - 「通院等の外出支援」(517人 15.9%)、「買い物」(505人 15.5%)
- 地域で手助けできること 問 1 3
 - 「声かけ・見守り」(843人 27.8%)、「話し相手」(590人 19.5%)
 - ⇒ 手助けしてほしいことは支援者にとって比較的負担の重いもの、手助けできることは支援者にとって比較的負担の軽いもの。

- 生活困窮について相談・報告をしたことがあるか 問 1 6
 - 「したことはない」(95.5%)
 - ⇒ ほとんどの人は相談したことがないが、相談したことがある人の相談窓口は半数以上が行政の相談窓口。

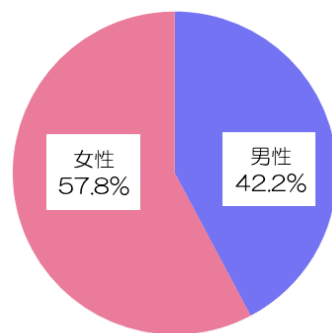
- 民生委員児童委員を知っているか 問 1 7
 - 「知らない」(44.1%) 最多
 - ⇒ 「知らない」が最も多かったが、「知っている＋今後相談することもあると思う」(51.8%) など、何らかの関りや関心をもっている人が半数を超える。

- 福祉協力員を知っているか 問 1 8
 - 「知らない」(69.2%) 最多
 - ⇒ 地域の福祉ボランティアである福祉協力員の認知度は低い。

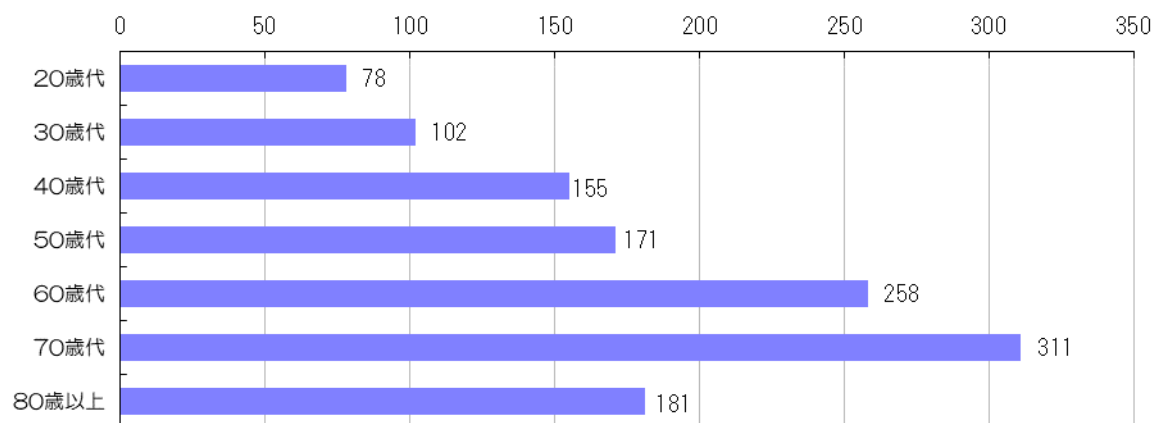
- 加賀市地域見守り支えあいネットワークについて知っているか 問 2 0
 - 「知らない」(67.4%)
- 地域見守り支えあいネットワークは必要か 問 2 1
 - 「とても必要＋必要である」(54.8%)「今後必要になってくる」(23.8%) と合わせると78.6%
- 避難行動要支援者名簿の活用は重要か 問 2 2
 - 「とても重要＋重要である」(53.0%)「今後必要になってくる」(28.8%) と合わせると81.8%
 - ⇒ 地域見守り支えあいネットワークの認知度は低いものの、その制度や避難行動要支援者名簿については高い割合でその必要性が感じられている。
- 成年後見制度を知っているか 問 2 4
 - 「知らない」(39.6%)「あまり知らない」(23.4%) と合わせると63.0%
- 成年後見制度を利用するか 問 2 5
 - 「今、利用したい＋将来、利用したい」(40.7%)
 - ⇒ 制度を知っている、知らないにかかわらず、制度を利用したい人の割合にはあまり違いがない。
- 地域福祉を充実させるための行政と住民の関係 問 2 6
 - 「行政も地域住民も同じくらい協力し合い、ともに取り組むべきである」(427人 35.9%) が最多。一方で「できるだけ行政はかかわらない＋地域住民が積極的に取り組むべき」(370人 31.1%) と「行政が解決すべき＋行政が積極的に取り組むべき」(393人 33.0%) がほぼ同数
 - ⇒ 地域住民と行政とのいずれが地域福祉を主導していくべきかに対して、ともに取り組む、地域住民が主導、行政が主導の考え方がそれぞれほぼ同数に分かれた。

問1. 性別・年齢・居住地区・職業・家族構成等を教えてください。

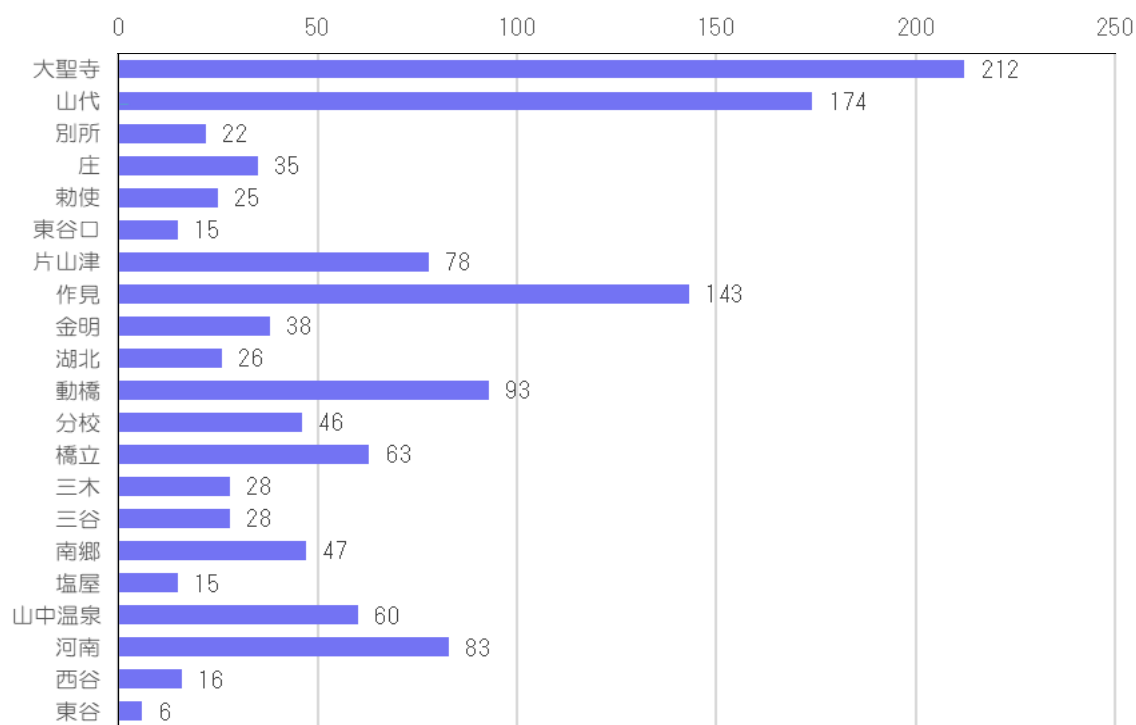
(1) 性別を教えてください。(1つに○)



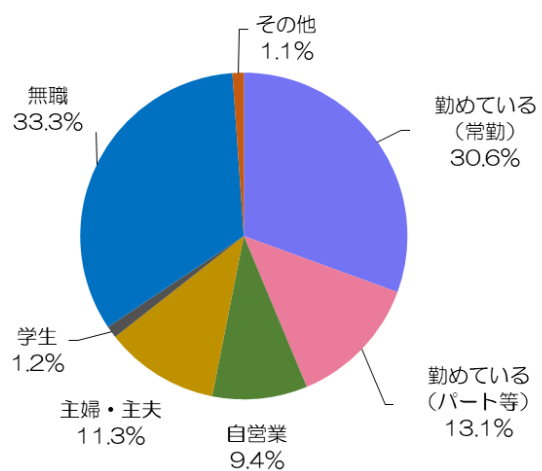
(2) 年齢を教えてください。(1つに○)



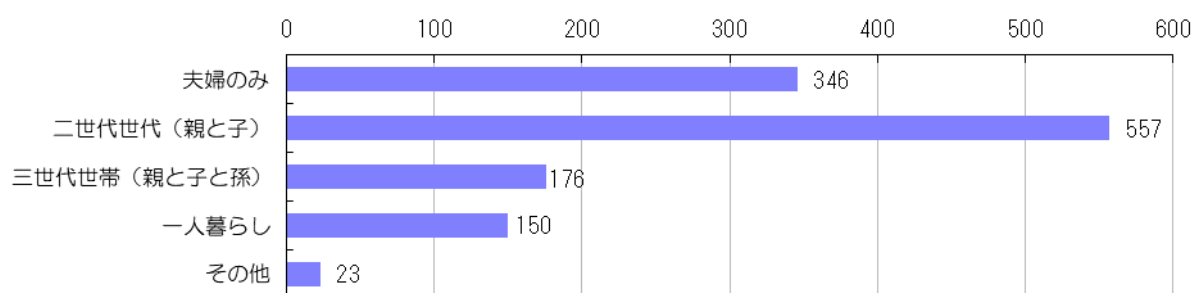
(3) お住いの地区を教えてください。(1つに○)



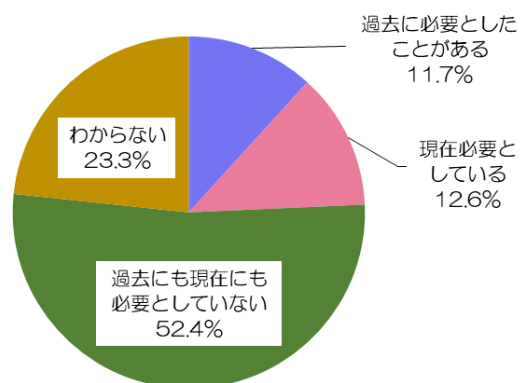
(4) 職業を教えてください。(1つに○)



(5) 家族構成を教えてください。(1つに○)

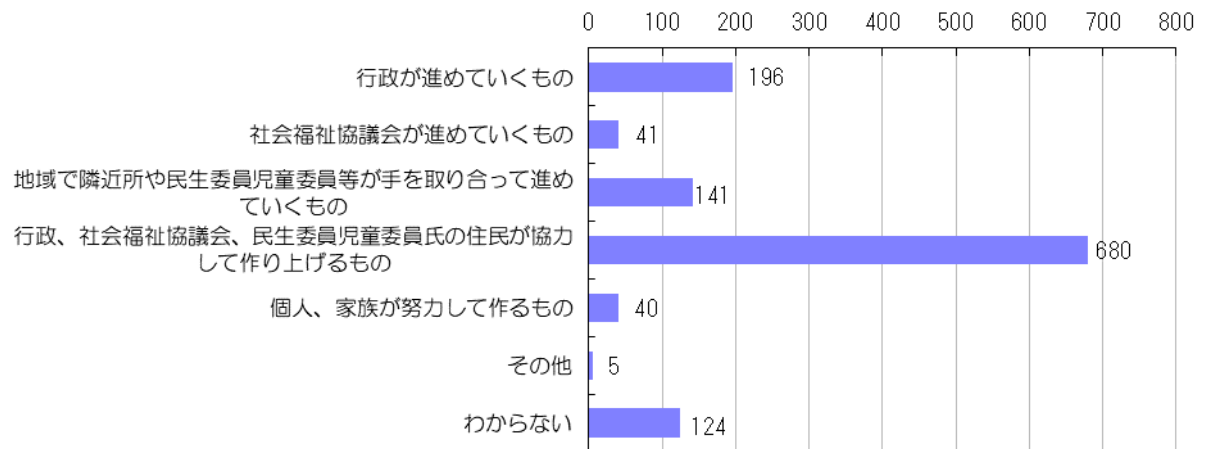


(6) 地域での支援を、過去に必要としたことがあるか、または、現在必要としているかについて教えてください。(最も近いものに○)

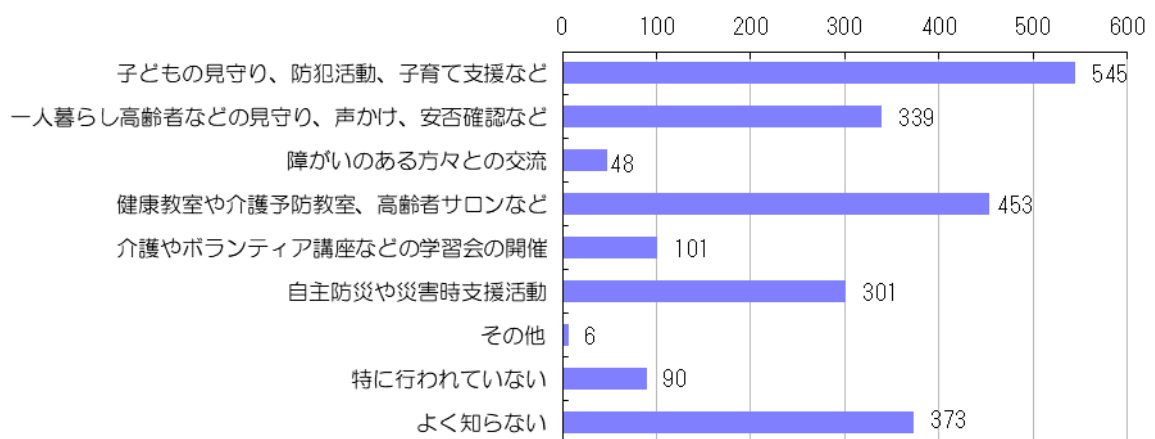


あなたのご近所とのかかわりや地域福祉についてお伺いします。

問2. あなたの地域福祉に対しての思いとして、近いものに○をつけてください。(最も近いもの1つに○)



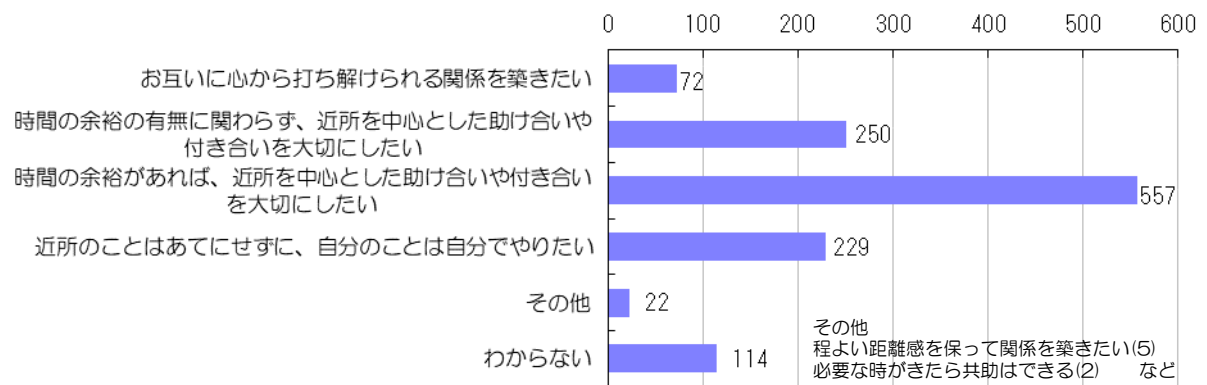
問3. あなたがお住いの地域では、どのような福祉活動がありますか。(該当するものにいくつでも○)



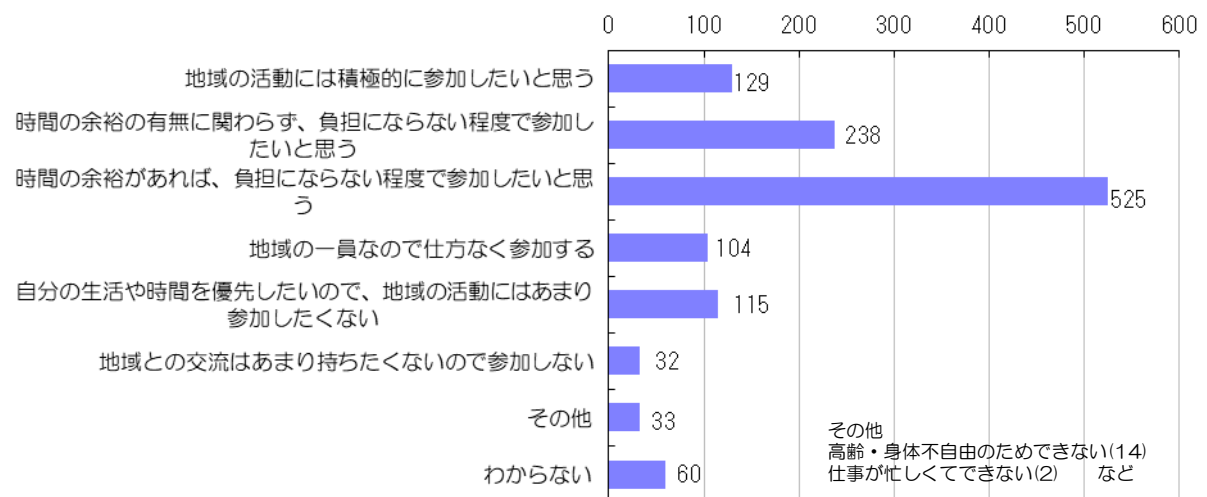
問4. あなたは、近所の人とどのような付き合いをされていますか。(最も近いもの1つに○)



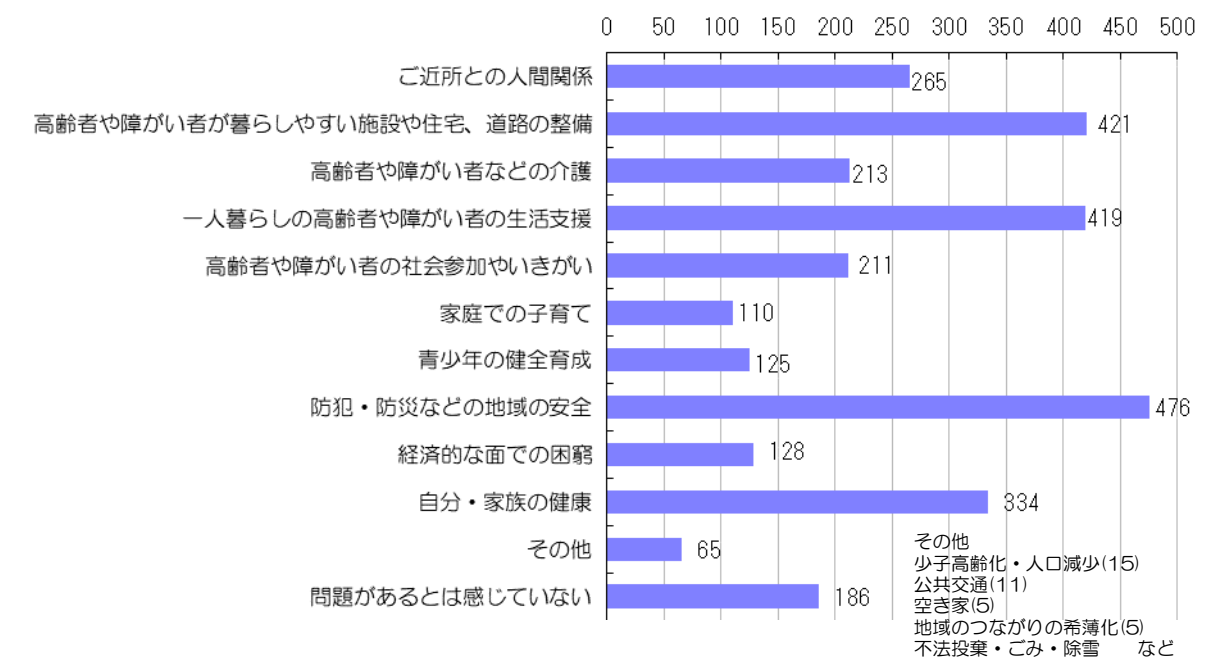
問5. あなたは、近所の人とのかかわりについてどのようにお考えですか。(最も近いもの1つに○)



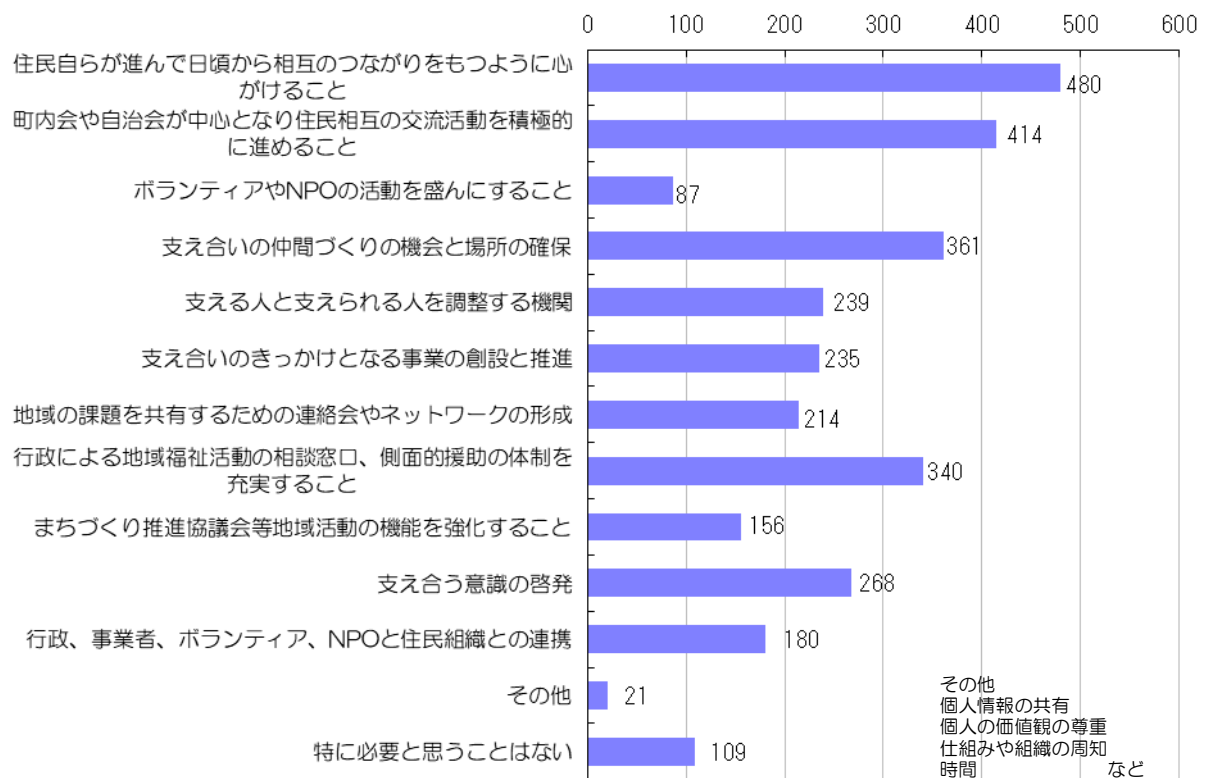
問6. あなたは、お住いの地域の様々な住民活動(清掃活動や祭り、子ども会、PTAなど)への参加について、どのように感じていますか。(最も近いもの1つに○)



問7. あなたがお住いの地域には、どのような課題や問題があると感じていますか。(優先順位が高いもの3つに○)

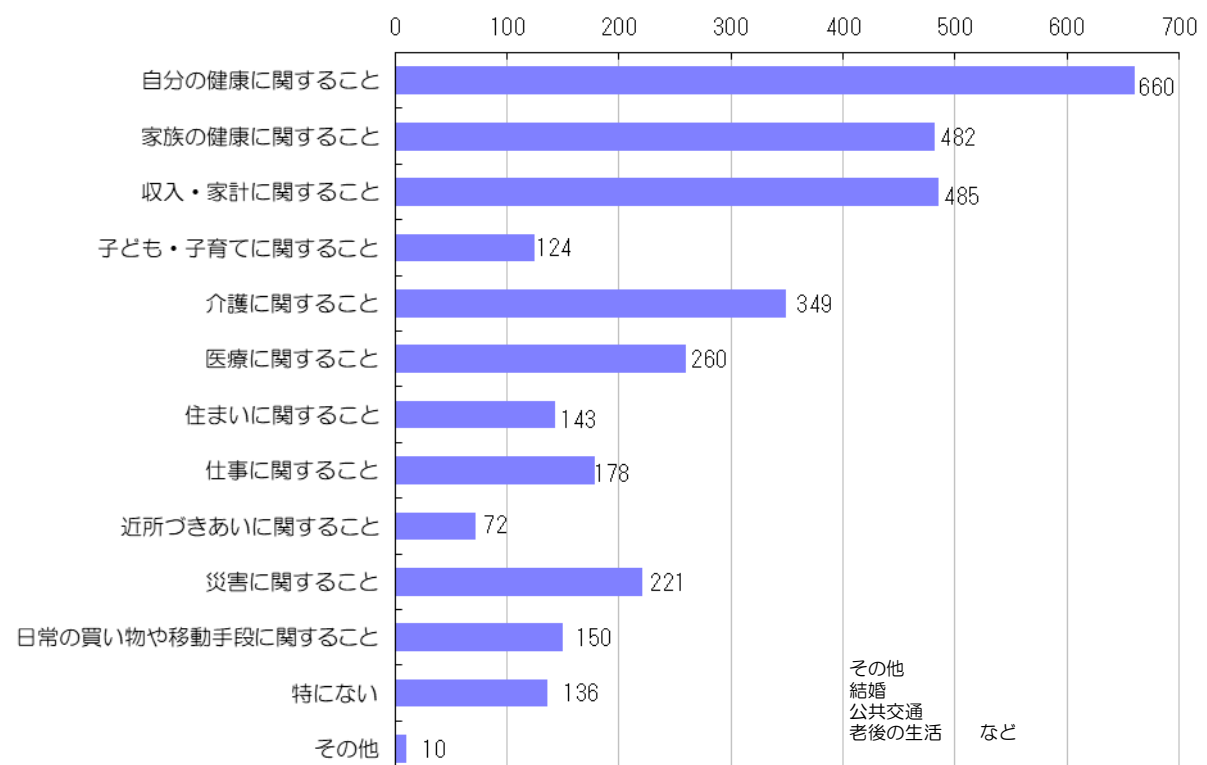


問8. 地域（町内や地区）の住民が支え合って生活していく仕組みを作るために、あなたが特に必要だと思うことはどのようなことですか。（優先順位が高いもの3つに○）

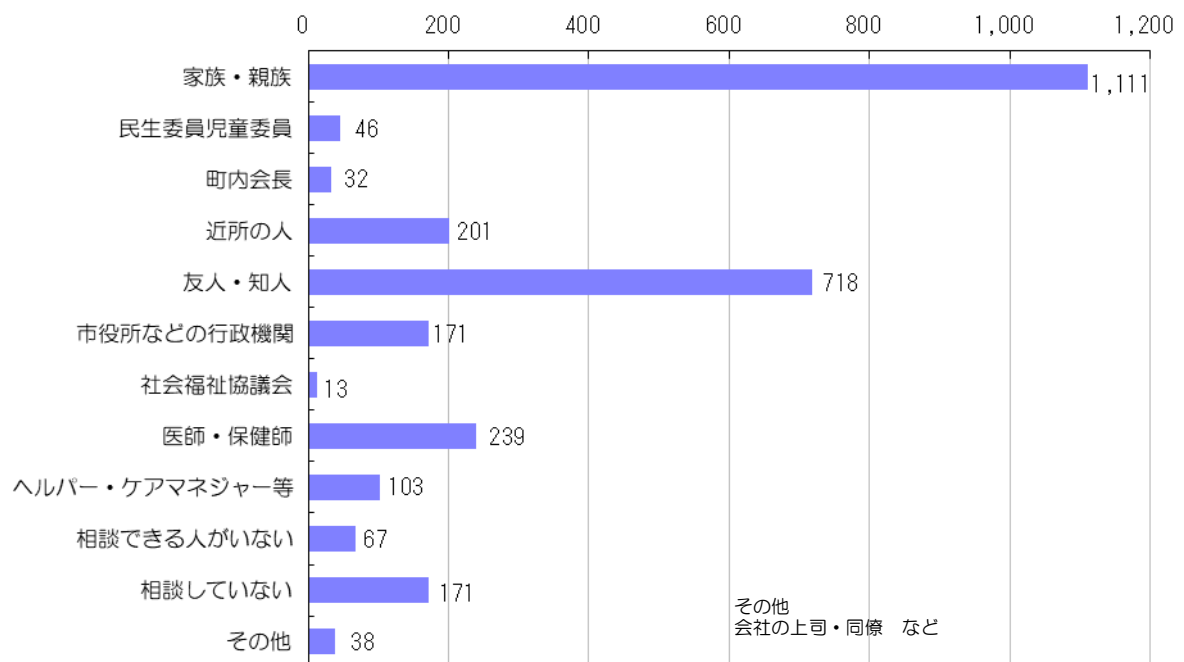


生活課題についてお伺いします。

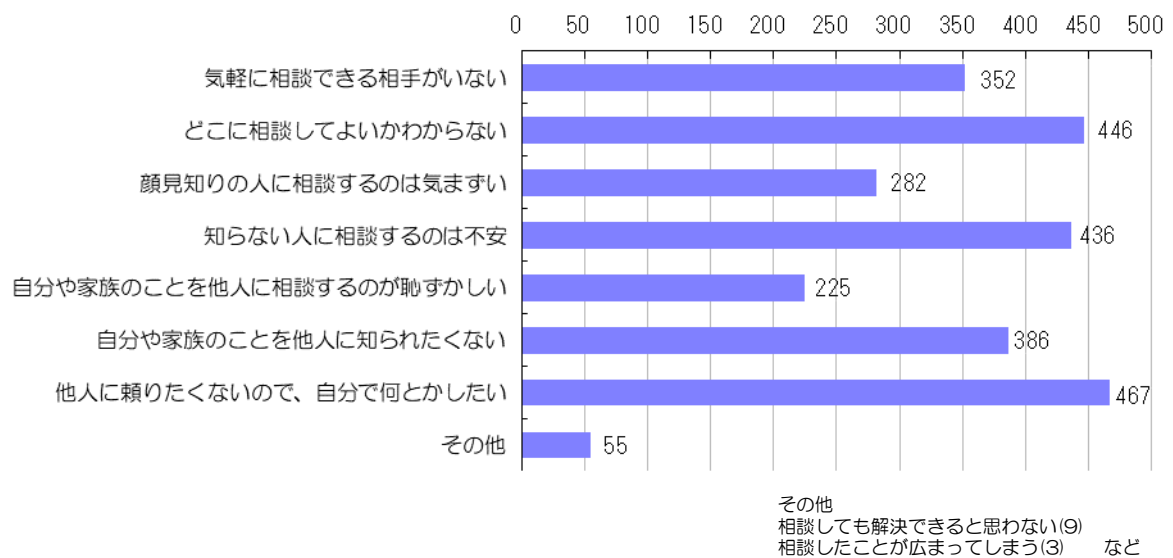
問9. あなたは現在、日常生活を送る上で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。（優先順位が高いもの3つに○）



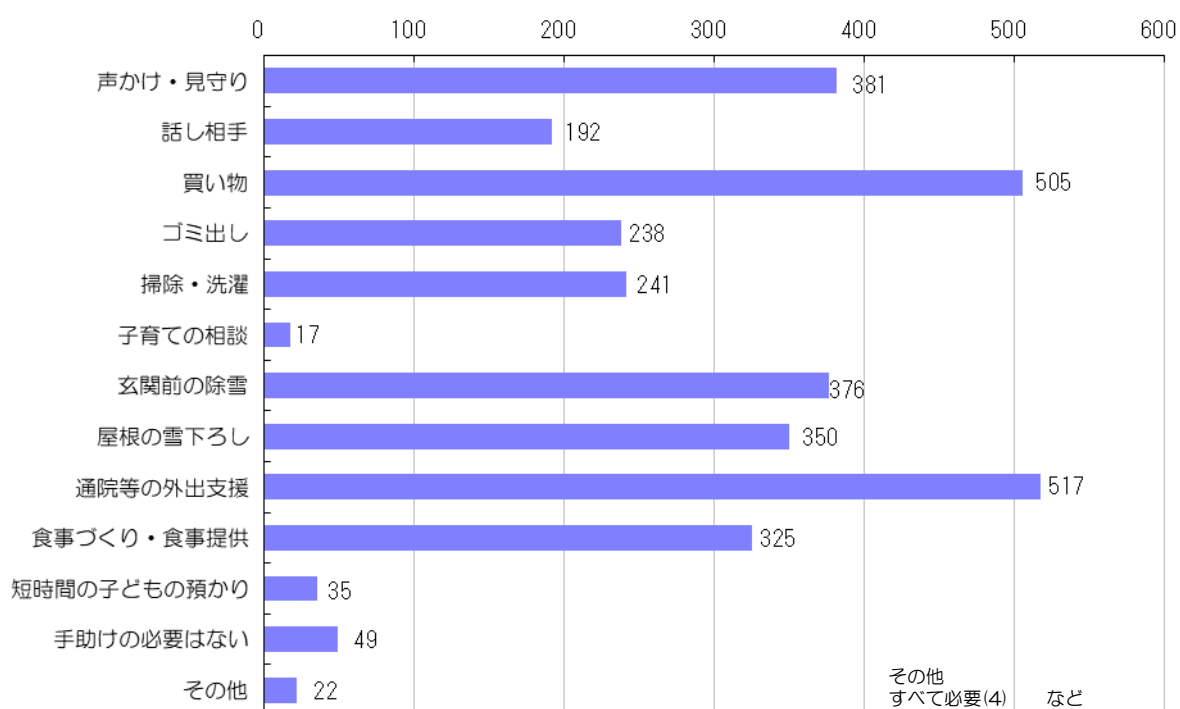
問10. あなたは、日常生活を送る上で困ったとき、誰に相談していますか。(優先順位が高いもの3つに○)



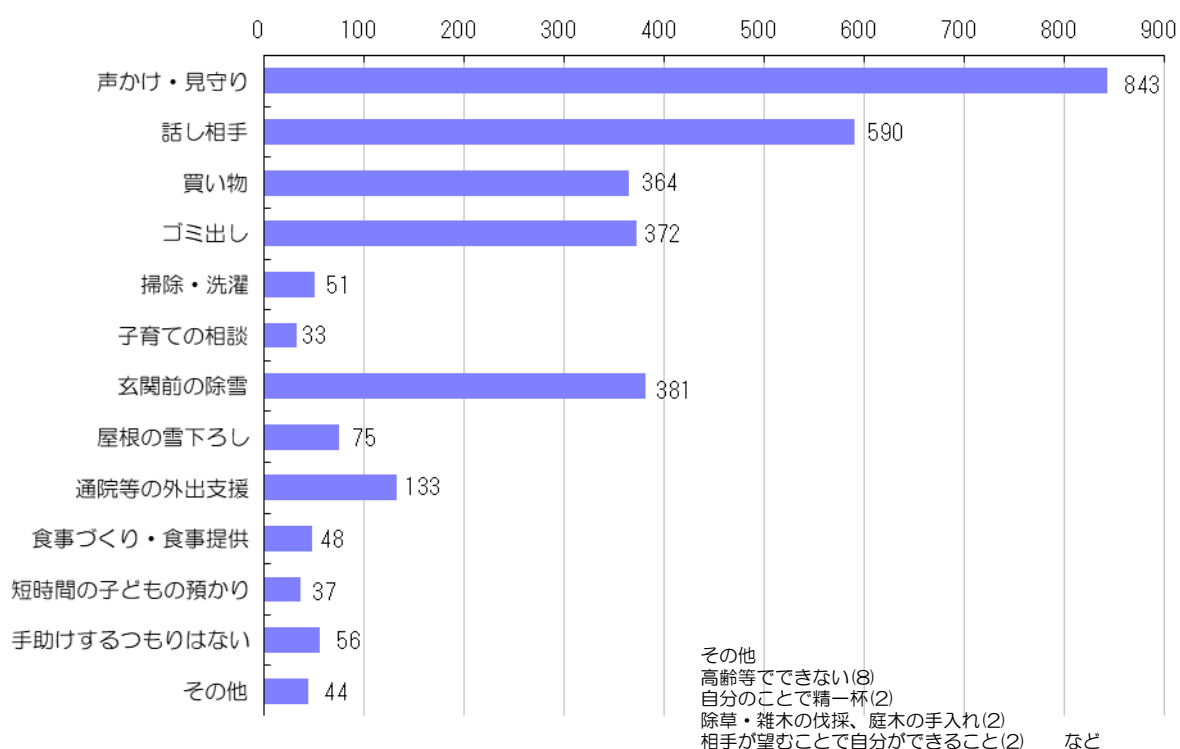
問11. 悩みやストレスを感じたときに、相談がしづらくなる(相談したくなくなる)ことがあるとしたら、その理由は何ですか。(優先順位が高いもの3つに○)



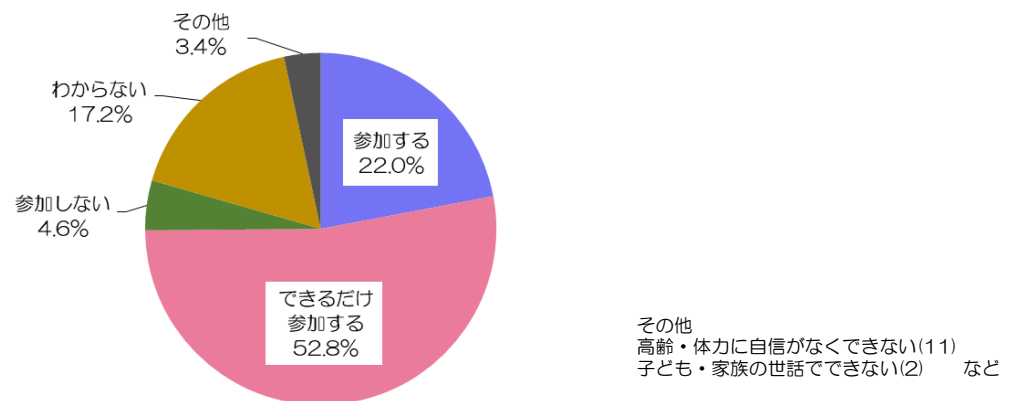
問１２．あなたは、自分が高齢や病気などで日常生活が不自由になった場合、地域の中で手助けしてほしいと思うことは、どのようなことですか。（優先順位が高いもの３つに○）



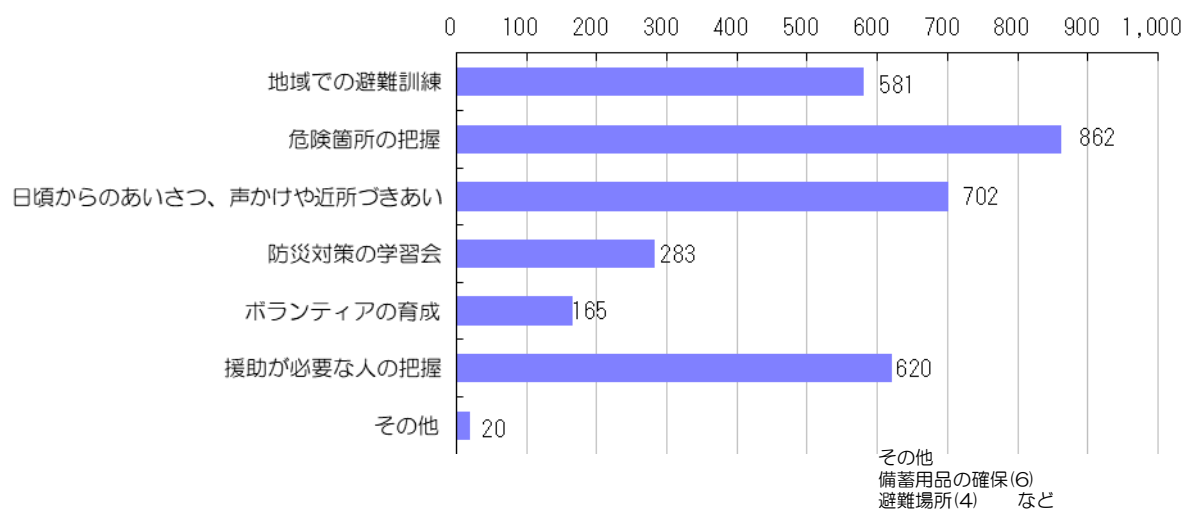
問１３．地域で日常生活に困っている人がいる場合、あなたが手助けできるのは、どのようなことですか。（優先順位が高いもの３つに○）



問14. あなたの地域で災害が起こり、被災者がいれば救援・復旧活動に参加しますか。(最も近いもの1つに○)

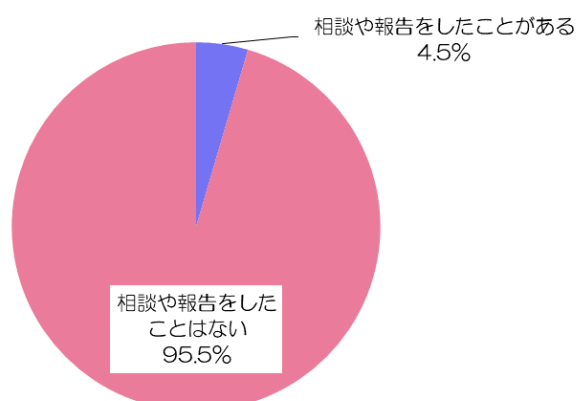


問15. 地震や大雨による災害が起こったときの助け合いで、備えとして重要なことは何だと思いますか。(優先順位が高いもの3つに○)

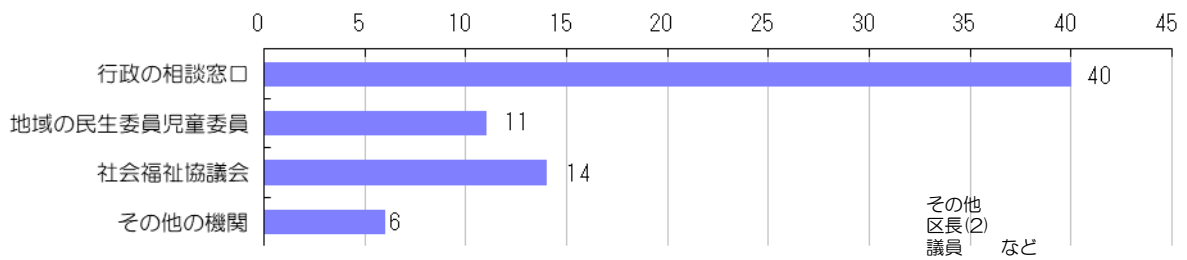


生活困窮の支援のあり方についてお伺いします。

問16. あなたは、地域の中で「生活困窮」について相談や報告をしたことはありますか。(最も近いもの1つに○)

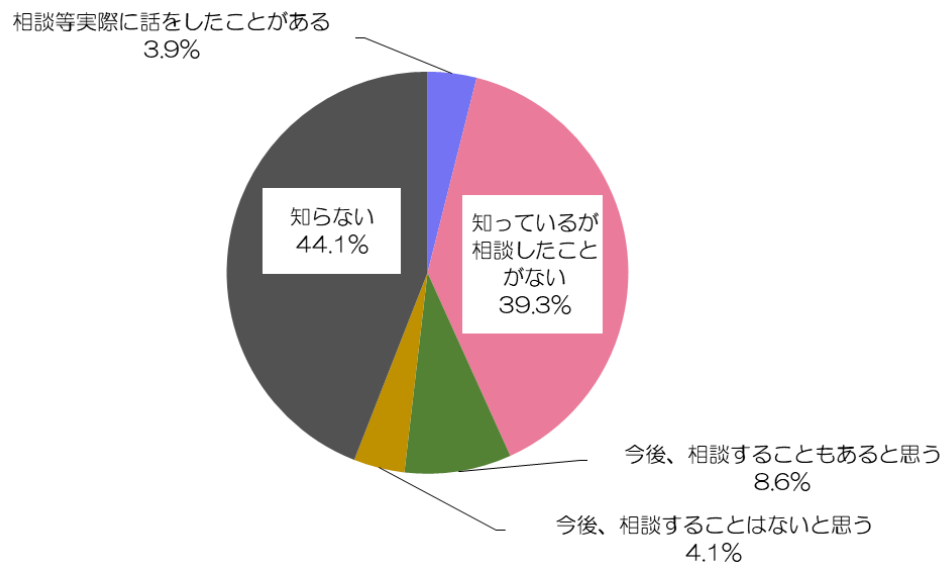


問16 - 1. 問16で「1. 相談や報告をしたことがある」に○をつけた方にお伺いします。
どちらに相談されましたか。(いくつでも○)

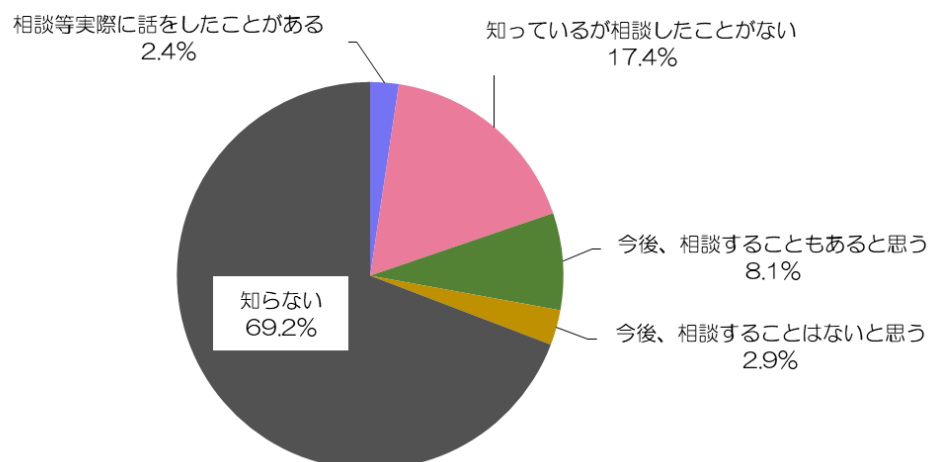


地域の相談窓口についてお伺いします。

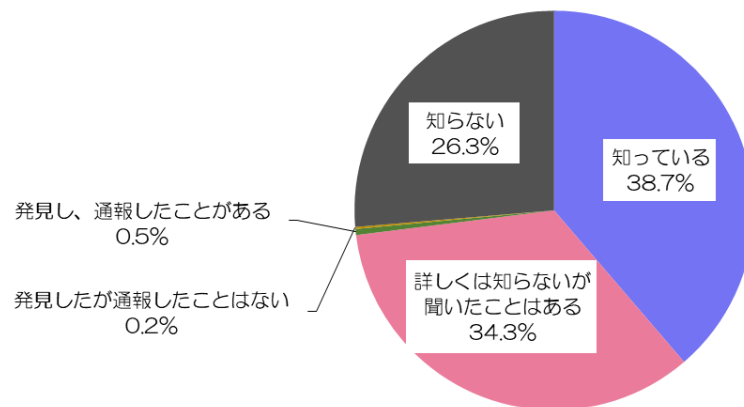
問17. 福祉に関する身近な相談相手として、民生委員児童委員がいますが、あなたがお住いの地区の民生委員児童委員を知っていますか。(最も近いもの1つに○)



問18. あなたがお住いの地区の福祉協力員を知っていますか。(最も近いもの1つに○)

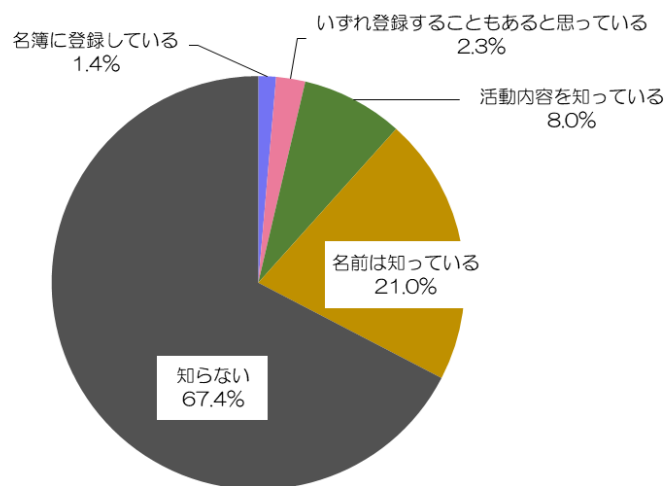


問１９．あなたは虐待を連絡（通報）しなければならないことを知っていますか。（最も近いもの１つに○）

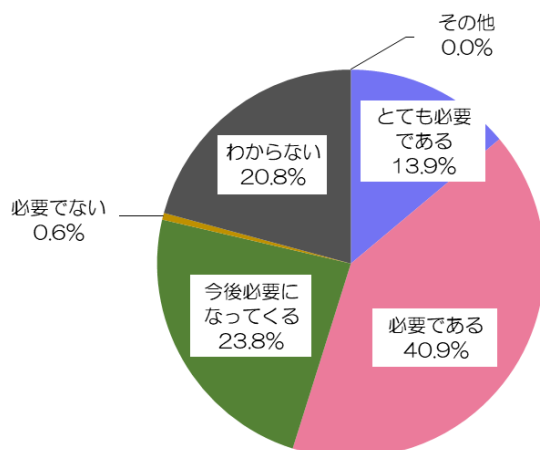


地域見守り支援あいネットワークについてお伺いします。

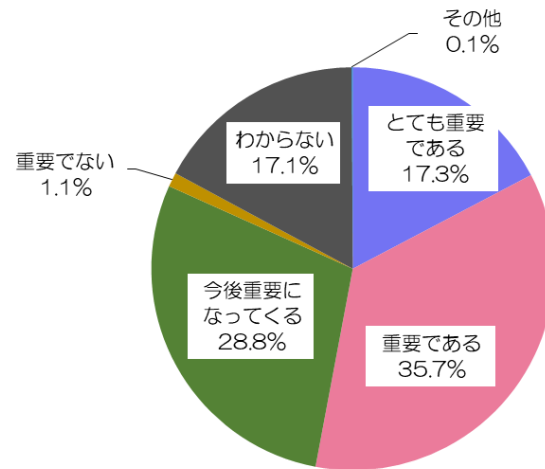
問２０．あなたは、加賀市地域見守り支援あいネットワークについて知っていますか。（最も近いもの１つに○）



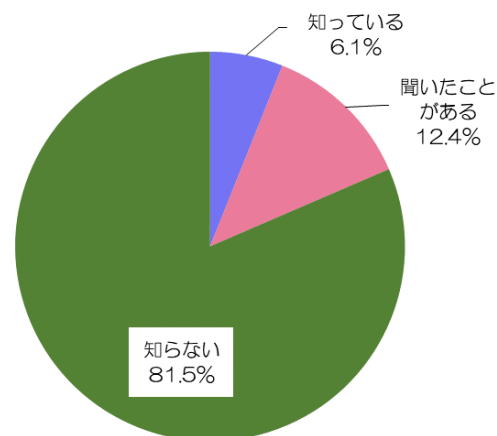
問２１．あなたが住んでいる地域にとって、このような『地域見守り支援あいネットワーク』は必要だと思いますか。（最も近いもの１つに○）



問２２．地域での名簿（避難行動要支援者名簿）の活用は重要だと思いますか。（最も近いもの１つに○）

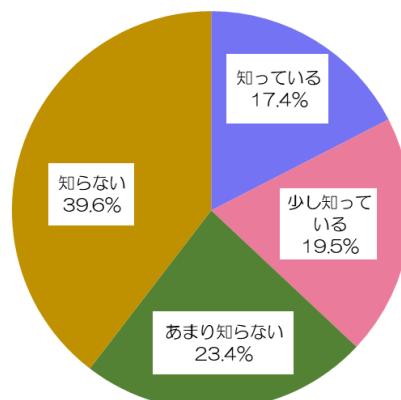


問２３．あなたは、加賀市安心メールについて知っていますか。（最も近いもの１つに○）

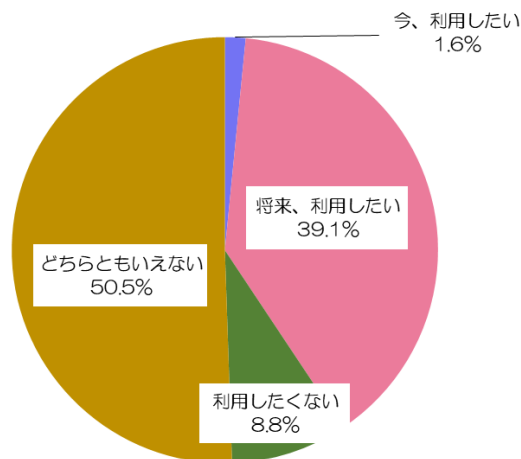


成年後見制度についてお伺いします。

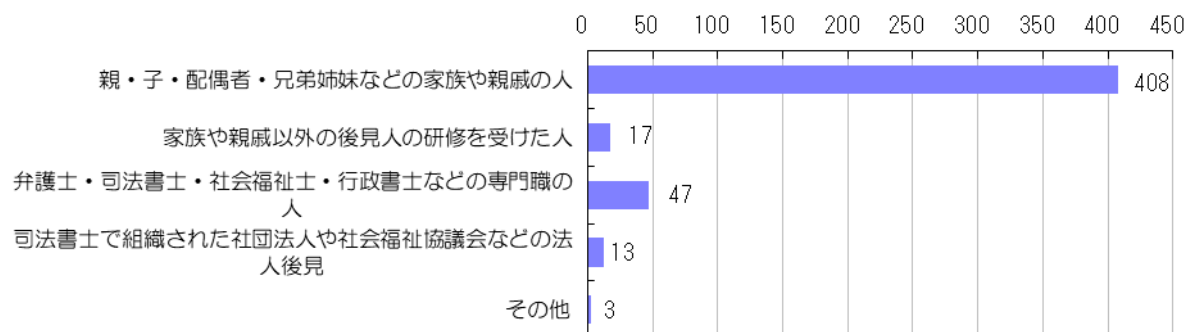
問２４．あなたは、成年後見制度について知っていますか。（最も近いもの１つに○）



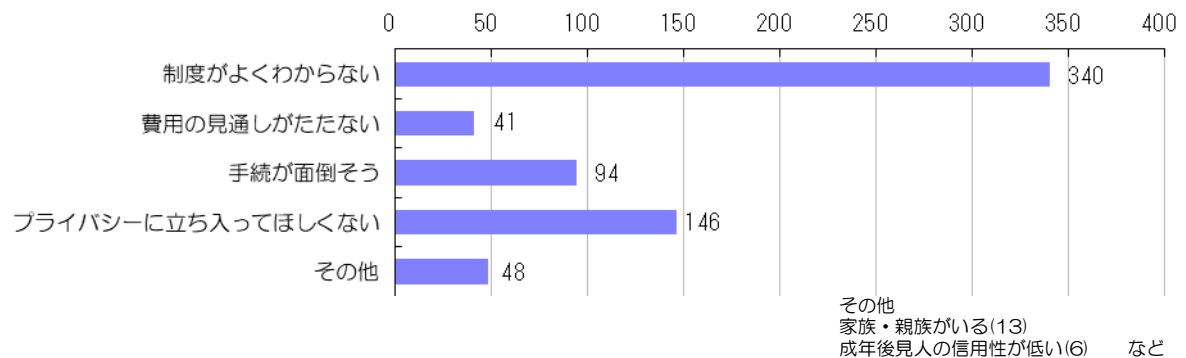
問25. あなたやあなたの家族が、判断能力が十分でなくなってきた場合に成年後見制度を利用したいと思いますか。(最も近いもの1つに○)



問25-1. あなたの代理人となる成年後見人には誰になってもらいたいですか。(最も近いもの1つに○)

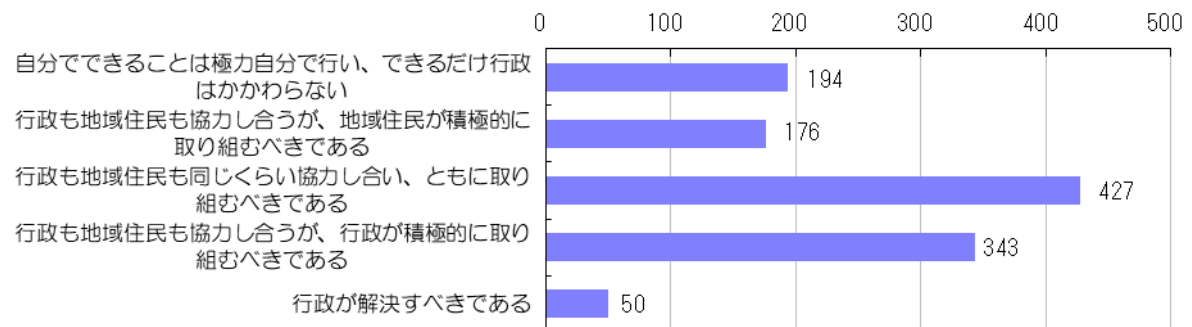


問25-2. あなたが、成年後見制度を利用したくない理由、どちらともいえない理由は何ですか。(最も近いもの1つに○)

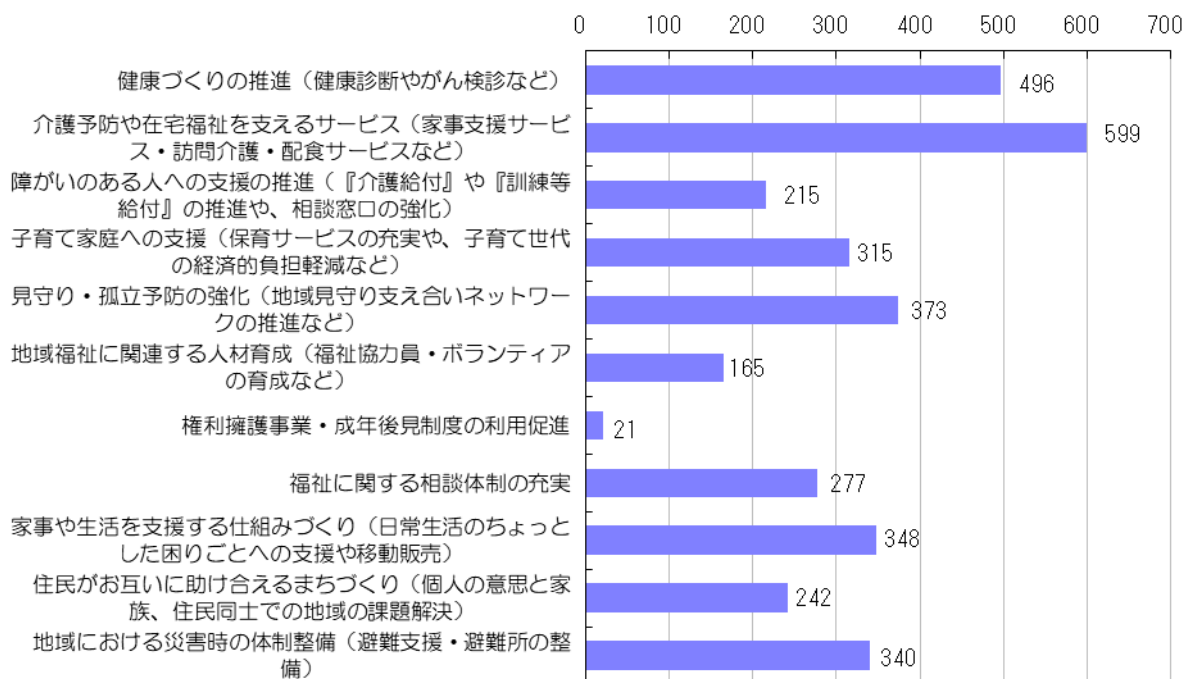


今後の福祉施策についてお伺いします。

問26. 地域福祉を充実させていく上で、行政と地域住民の関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（最も近いもの1つに○）



問27. あなたは、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要だと思うことは何ですか。（優先順位が高いもの3つに○）



問28. 福祉に関するご意見や、日常生活で困られていること、こういうところをこうすれば、もっと住みやすくなるのではといった点など、下の欄にご自由にお書きください。

- ・福祉制度は整っていると思うが、どのように活用しているのかわからない。必要にならないと知らずとしないからかもしれないが、市民に対して周知・啓蒙が足りない。
- ・地域の相談窓口をもっとわかりやすくした上で、行政を含めた支援の仕組みがどのようになっているのか見える化し、それを機能させることが必要。
- ・福祉を地域住民だけでやっていくのは無理がある。自分が高齢になったとき、近所の人には頼みづらい。「困りごと代行サービス」のような、代金を支払って誰もが依頼できる仕組みを市として作れないか。
- ・現役世代は仕事を休んでまで福祉に参加することはできない。リタイヤ世代の元気な方が、ボランティア（無償）ではなく、有償ボランティアとして活動できるシステムが作れたら。
- ・緊急時の対応等について訓練・習得が大切。緊急時どうするかを、日ごろ地域で話し合っておくべき。
- ・車の運転ができなくなった時に、買い物・通院をどうすればよいのか不安。
- ・公共交通機関を利用したいが本数が少ない。近くにバス停がない。通勤・通学・通院が便利なまちになれば住みやすいと思う。
- ・地域の住民活動に参加しなくてはいけないことはわかっているが、自分の生活・仕事で参加が難しいことが多い。地域の「役」もなり手がなく、引き受けざるを得ないが、負担になる。
- ・仕事をしており、地域の行事に参加しないことが多いため、知らないことも多い。町民がいつでも気軽に立ち寄ることができる場所がほしい。
- ・子どもから高齢者まで、気軽に集える公園や広場、コミュニティみたいな場所があるといい。